

平成29年度

青森県いきいき男女共同参画社会づくり表彰

青森県では、男女共同参画社会の実現に向けて、顕著な功績のあった個人及び団体の功績を讃えるとともに、男女共同参画社会づくりに対する県民の皆様の一層の関心を高めるため、知事表彰を実施しています。

アピオあおもりで開催した『パートナーセッション2017 アピオあおもり秋まつり』において、平成29年度受賞の2個人及び1団体に「女性のチャレンジ賞」が贈られました。



▲写真左から 中村さん、畑中さん、佐々木副知事、小笠原さん、鈴木環境生活部長

女性のチャレンジ賞

起業、NPO活動、地域活動などにチャレンジし、活躍する女性個人及び団体・グループに贈られる賞です。

■小笠原 廣子 さん(東北町:道の駅おがわら湖産直友の会会長)

昭和45年から農業に従事する中で、家族経営協定を締結し農産物の六次産業化を主導するなど、農業が女性にとって魅力的な仕事であることを示しながら、現在は、若手農業者や女性起業家の支援、子どもたちへ農業の素晴らしさを伝える活動も展開し、活躍しています。

■畑中 智子 さん(東通村:観光摘み取り福祉農園あべらベリー苑苑主)

看護師の経験を活かし、農業、林業、観光、教育、医療、福祉が融合した観光摘み取り福祉農園「あべらベリー苑」を平成18年から運営。障がい者の自立支援としての農園実習や医療・教育関係者の研修作業プログラムを提供するなど、農福連携の先駆的な取組を実践しています。

■おかず屋(つがる市:代表 中村 嘉子さん)

女性農業者が集まり平成15年に開業して以来、地元の農産物にこだわったお弁当や郷土料理の移動販売等により、地元農業に貢献しています。また、つがる市の高齢者配食サービス事業を受託し、社会福祉協議会と連携しながら、高齢者の見守り役としても活躍しています。

地域も企業も応援！「チーム夫婦」

県では、「男女が わかち合い ささえ合う 青森県」の実現を目指しています。特に労働力人口が減少する中、働きたい人が性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮できる社会づくりは、本県の経済や企業の活性化の点からも重要な意義を持ちます。そのため、県では男女ともに働きやすい環境づくり等の取組を進めています。

「チーム夫婦」ポスター・チラシ作成

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」といった考えではなく、「チーム夫婦」として、お互いにささえ合いながら家事・育児を行うことを普及啓発するポスター・チラシを作成しました。

また、子育てをしながら柔軟に働くことができたり、男性も育児休業を取得できるなどの企業の取組や、保育サポーターや子育てサークルなどの地域の取組が「チーム夫婦」の大きな支えとなります。

青森の明るい未来のために、「周りのチカラ」で「チーム夫婦」を応援しましょう。

「イクボス宣言企業」登録・公表

従業員一人ひとりのワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)に配慮し、男女ともに働きやすい職場づくりを進めるイクボスが求められています。県では、イクボス宣言を行った企業を登録し、公表しています。

あおもり イクボス 検索



イクボスとは・・・職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果も出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)のこと。